２０２０年3月３１日

お客さま各位

大多喜ガス株式会社

家庭用燃料電池「エネファーム typeS」新製品発売のお知らせ

日頃より大多喜ガスをご利用いただきまして、誠にありがとうございます。
さて弊社では「アイシン製エネファーム typeS ２０２０年モデル」を２０２０年４月より販売します。

「エネファーム typeS」は、アイシン精機株式会社、大阪ガス株式会社、京セラ株式会社による共同開発にて商品化したもので、また、セット用給湯器を株式会社ノーリツ、パーパス株式会社、リンナイ株式会社がそれぞれ製造するものです。

[エネファーム typeS について]

「エネファーム typeS」は、都市ガスやプロパンガスから取り出した水素を空気中の酸素と化学反応させて発電し、発電した電気を家庭内で利用するとともに、発電する際に発生する「熱」を燃料電池ユニット内の貯湯タンクへ「お湯」として貯めて給湯に有効利用する、環境にやさしいエネルギーシステムです。

＜エネファーム typeS ２０２０年モデルの主な特長＞

１）世界最高※1 の発電効率

新製品はセルスタックの改良と高効率制御により、世界最高の発電効率５５％※2 を実現しました。

２）大幅な小型化による設置性の向上

主要部品のコンパクト化と部品レイアウトの見直し等により、燃料電池ユニットの横幅を２０１８年モデルの７８０mm から６００mm にスリム化。燃料電池ユニットの設置面積が約２０％縮小し、狭小スペースにも設置の可能性を広げ、より多くのお客さまへご提案できるようになりました。

３）停電時「自立運転機能」搭載モデル（自動で自立運転に切替）

「エネファーム typeS」が発電中であれば、停電が発生した際に「自動」で自立運転に切り替わることで発電を継続、非常用コンセントにて最大７００Wの電気が使用できます。

４）ＩｏＴを活用した新たなサービス機能

エネファームリモコンを無線ＬＡＮルーターに接続すれば、外出先からスマートフォンでお湯はりや床暖房のオン・オフができ、電気使用量や発電量などエネルギー使用量が外出先でも確認できる機能が搭載されました。

５）耐久性の向上

主要デバイスであるセルスタックの耐久性を見直すことで、燃料電池ユニットの耐久年数を従来の１０年から１２年に延長し、より長く発電可能となりました。

●<u>エネファーム typeS　ＬＰガス仕様機の販売開始</u>

弊社ではエネファーム type S　２０２０年モデル発売と同時に「ＬＰガス仕様機」の販売も開始いたします。これにより都市ガスだけでなく、ＬＰガスをご使用いただいているお客さまにもエネファーム typeS をご提案できるようになりました。

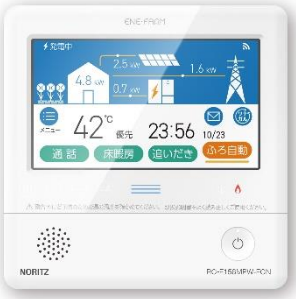
※弊社販売網により販売できないエリアもございます。詳しくは、弊社までお問い合わせください。

弊社では環境性とレジリエンスを両立する「エネファーム typeS」を地域にお住まいのお客さまへご提案することにより「地球温暖化対策」「安心安全な暮らし」に貢献してまいります。

また昨年発生した台風１５号等の影響により長期停電が発生した際も、エネファームにより電気が使用できたお客さまから大変ご好評いただきました。停電時でも「電気が使える安心感」をエネファーム typeS で実現しませんか。

「エネファーム typeS」に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

大多喜ガス株式会社　販売推進グループ
電話：０４３－２９１－１１９３
エネファーム専用ホームページ：https//otakigas-fan.com/enefarm/



※熱源機、リモコンは、㈱ノーリツ製

※1 定格出力１ｋｗ以下の家庭用燃料電池コージェネレーションシステムにおいて（2020 年 2 月 1 日現在、アイシン精機調べ）

※2 都市ガス 13Ａ（LNG）を使い約 3 時間以上安定して定格発電を継続した際の発電効率で、それ以外の定格発電効率は、54%（総合効率は 87%）。都市ガス 13Ａ（国産天然ガス）、12Ａ使用時の定格発電効率は、54%（総合効率は 87%）。ＬＰガスの定格発電効率は 53%（総合効率は 85%）